

# サステナビリティ方針 取り組みのご紹介

---





## サステナビリティ方針

sustainability

---

私たちは、アジアを代表する特殊印刷グループとして、対話と挑戦を通じ、持続可能な社会づくりに貢献します。

## サステナビリティの柱

---

ものづくりを通じた地球環境との共生



働く人の暮らしを応援する環境づくり



AIM Group

# 取り組みとSDGsの繋がり

サステナビリティの柱	取り組み内容	貢献するSDGsのゴール
<p>ものづくりを通じた、 地球環境との共生</p> 	<p>■端材の再利用 スリット端材を緩衝材活用へ</p>	
	<p>■端材のリサイクル推進 セパレータ・抜きカスを“ゴミ”から“資源”へ</p>	 
	<p>■包装の工夫によるロス削減 内巻き推進によるリードレス化</p>	 
	<p>■フレキソ印刷/プロセスカラー印刷の推進による材料使用量削減 「凸版」を「フレキソ」に、「特色」から「プロセスカラー」へ</p>	  
	<p>■ロット数に応じた印刷方式による材料使用量の削減 小ロット時のデジタル印刷推進</p>	  
	<p>■工場でのCO2排出量削減 見える化によるマネジメント</p>	
<p>働く人の暮らしを応援する 環境づくり</p> 	<p>■ライフプランを支える職場づくり (1)有給取得率の向上 (2)残業時間削減 (3)産休・育休取得を男女ともに推奨</p>	 



# 端材の再利用

## スリット端材を緩衝材活用へ



私たちの業界では、シール・ラベル等のカット時に発生するスリット端材をゴミとして廃棄物処分されてきました。

当社では、スリット後の端材を梱包用の緩衝材として活用し、  
月間排出量 約260kgに対して、約70%を再利用を実現しています。  
端材を捨てるのではなく、お客様の製品を守る素材として生まれ変わります。

※2024年9月時点

01

# 端材のリサイクル推進

セパレータ・抜きカスを“ゴミ”から“資源”へ

私たちの業界では、シール・ラベル等の印刷・加工工程で発生するセパレータ（剥離紙）や抜きカス（ラベル以外の不要な粘着紙）はゴミとして廃棄物処分されてきました。

当社では、リサイクル事業者と連携し、セパレータや抜きカスをRPFにリサイクルする活動を推進しています。

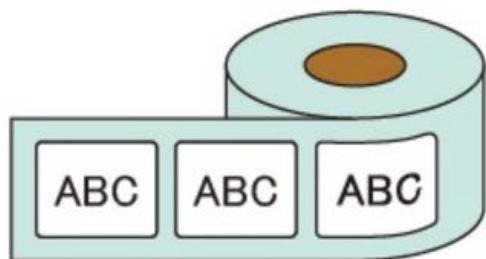
リサイクル後のRPFは、製紙産業・セメント産業・鉄鋼産業等の熱エネルギーを利用する産業での廃棄物燃料として、導入が活発になっております。



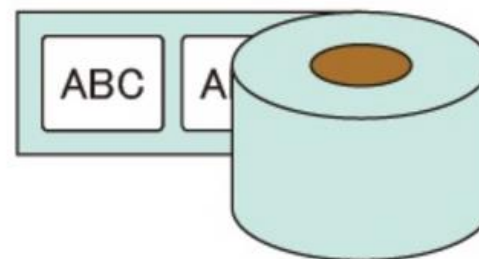
※RPFとは、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。

# 包装の工夫によるロス削減

## 内巻き推進によるリードレス化



外巻



内巻

シール・ラベル等のロール仕上げでは、外巻/内巻の2タイプありますが、外巻タイプの場合、製品保護のため余剰の包装が必要となります。

当社では、製品を内周に収めることができる、内巻タイプを推進することでロス削減に取り組んでいます。

現在、内巻タイプが全体の約37%(月間)を占めており、引き続き推進に努めてまいります。

※2024年9月時点

03



# フレキソ印刷/プロセスカラー印刷の 推進による材料使用量削減

「凸版」を「フレキソ」に、「特色」から「プロセスカラー」へ

機械構造がシンプルな「フレキソ印刷機」では、他の印刷方式と比べて、段取り時間も1/2程度と短く、材料使用量を削減することができます。

加えて、当社ではCMYKのみでカラーを表現する「プロセスカラー印刷」を組み合わせることにより、最大1/3程度まで段取り時間を短縮し、さらなる材料使用量の削減に努めています。

お客様との協働により、2023年度は72品目の実績を生み出すことができ、年々、共感の輪が広がっております。

当社では、フレキソ印刷・プロセスカラー印刷を推進することで、地球環境と働く人に優しい製品づくりを目指します。





# ロット数に応じた印刷方式による 材料使用量の削減

## 小ロット時のデジタル印刷推進

---

当社では、ロット数に応じた印刷方式のご提案を通じて、無駄を生まない印刷に努めています。

小ロットの製品についてはデジタル印刷での製造を行うことで、段取りに発生する材料の使用量削減に取り組んでいます。





# 工場でのCO2排出量削減

見える化によるマネジメント

## ■CO2排出量



飯田工場では、省エネ設備の導入により、CO2排出量を2020年から3年間かけて約11tの削減を実現しました。

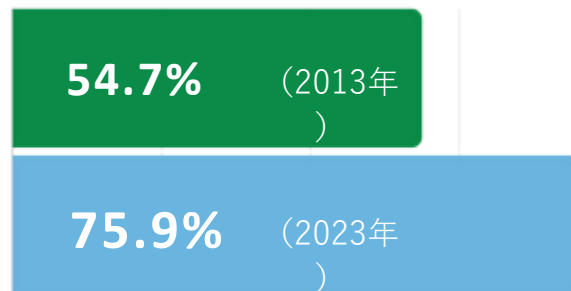
工場全体でのCO2排出量の見える化・設備投資を意識的に取り組むことで、環境負荷の少ない生産に努めています。



# ライフプランを支える職場づくり

当社では、一人ひとりが成長、活躍できる環境を目指し、社内での啓発や仕事の効率性を高めることで、ライフプランを支える職場づくりに取り組んでいます。

## (1)有給取得率の向上



正社員の有給取得率が  
10年間で約20%アップ！

## (2)残業時間削減



正社員の残業時間が  
10年間で約25%ダウン！

## (3)産休・育休取得を 男女ともに推奨



対象者は全員産休・育休取得！

# ライフプランを支える職場づくり

実際に、育休・産休を取得した社員の事例と生の声をご紹介します。

## ■女性 S.Tさんの場合…

### お子様 1人目→合計 245日を実現！

産前休暇37日・産後休暇56日・育児休業152日

### お子様 2人目→合計 423日を実現！

産前休暇31日・産後休暇日56日・育児休業336日

私は少人数の部署に所属しており、育児休暇を取得し、復帰することは現実的に難しいかもしれない。。。という不安を抱えていました。

ママになってもこのお仕事を続けて行きたい！という相談をしたところ、体制の整備に尽力していただき、安心して出産育児に取り組むことが出来ました。

復帰後も家庭と仕事の両立が叶うよう、個々の事情に耳を傾けていただき、相談しやすい環境です。職場の皆さんの理解ある対応にも毎々助けられています。女性の社会進出にとっても理解のある会社だと思います。



S.Tさん



# ライフプランを支える職場づくり

実際に、育休・産休を取得した社員の事例と生の声をご紹介します。

## ■ 男性 M.Yさんの場合...育児休業7日



M.Yさん

育児休暇を取得し、子育ての大変さを夫婦で共感できたことはよかったです。子育てを妻だけに任せきりにならず、自分ごとで考える貴重な時間になりました。

平日は仕事の関係で子育ては妻に任せていますが、週末は今でも積極的に子育てに奮闘しています。

男性も育児休暇を取得することで、仕事に対してもより責任感が芽生えるので、会社にとっても有意義な制度だと思います。

## ■ 男性 S.Aさんの場合...育児休業15日



S.Aさん

産後の妻の大変な時期にサポートをすることで妻を休ませることができましたし、妻の大変さの一部でも共有できたことがよかったと思います。

また、夜中も一緒に起きるなど1日中一緒に育児をできたことで、父親としての自覚も芽生える良い機会になったと思います。



**AIM Group**

